

第 6 回大阪市障がい者施策推進協議会 発達障がい者支援部会会議概要

日 時：平成 27 年 7 月 16 日（木）午前 10 時～12 時

場 所：市役所地下 1 階 第 11 共通会議室

【議題 1 発達障がい者支援センター事業実施状況について】

- ・ 40 代以上の方の就労相談は、賃金が下がるなど生活の問題が大きく関わるため、障がい者での就労に踏み切るまでに非常に時間がかかる方が多く、非常に難しい。
- ・ 60 歳を超えるような方の相談も徐々に増えてきている。
- ・ 学齢の相談・発達の件数が非常に少ないが、これは区での相談体制や、教育委員会の支援システムなどが整ってきたことからと考えている。
- ・ 調整会議の開催状況で、40 歳以上の方の相談では、最近「発達障がい」とわかったといったケースが非常に多い。
- ・ ペアトレフォローアップについては、ペアトレを終了された方を対象に、3 ヶ月後に行っている。

【議題 2 発達障がい者就業支援コーディネーター事業実施状況について】

- ・ 就労 A 型事業所については、見学や体験入所も行ったうえでその事業所に行くことを決めているが、通っていく中で人間関係の折り合いが悪くなり他の事業所に替わられた方々がいらっしや、一定止むを得ないと考えている。
- ・ 「こころとからだのワークショップ」を実施されているが、事業を実施した経験から、学齢期や幼児期から、教育や福祉サイドでやっておけばよいというような支援があると感じていることがあるなら教えてほしい。
- ・ コラボ事業参加者で「パワハラで離職」というケースがあったが、パワハラであれば本来、会社に知らせ、しっかり理解させ是正させなければならない。それを誰が行うのか、また当事者が被害的に受け取っている場合もあるので事実確認を行う必要があるが、誰が行うのかなどが明確になっていない等の課題がある。

【議題 3 再構築事業実施状況報告について】

- ・ ユニバーサルサポート事業の就労支援に関して、特別支援学校から企業へ就職している割合について、この 10 年間でどのようになっているのかを教えてほしい。
- ・ 児童養護施設等での自立支援事業について、実績が伸びているが、支援する側の臨床心理士等の質や共通理解が重要。それぞれこれまで学んできた背景が異なるので、できれば共通の理解を図る場があるほうがよい。
- ・ 特別支援教育巡回相談で、希望のない学校も訪問するということが大切な取り組みだと思う。これまでで全校の何パーセントぐらい回れたのか、また、何年計画で全校を回る予定なのか教えてほしい。

【議題4 大阪市発達障がい者支援指針について】

- ・ 質疑なし。

【議題5 その他】

- ・ 就学相談のリーフレットができたことは喜ばしいが、理解についてまだ教職員間で齟齬がある。この内容は教職員全員が知っておくべき内容であるので、十分に周知・啓発を行ってください。